

2024年10月7日

報道資料

一般社団法人電子情報技術産業協会
静岡県三島市

JEITA、デザインの力による地域課題解決に向けて 静岡県三島市とパートナーシップを締結

～ 街の魅力向上と社会課題解決に不可欠なエコシステムの形成を目指して ～

一般社団法人電子情報技術産業協会のデザイン部会^{*1}（部会長 石川慶文 キヤノン株式会社総合デザインセンター 所長）は、静岡県三島市と「デザインエコシステム形成プロジェクト」の実現に向けたパートナーシップを締結したことを本日発表しました。デザイン部会が地方自治体と共同の事業を実施するのは今回が初めてで、JEITAが事業指針として掲げる「Society 5.0の推進」に基づき、企業の持つデザイン資源を地域に還元し、課題解決に向けた産官民のエコシステムを形成することで、持続可能な自治体運営と地域の産業発展の両立をデザインの力で実現することを目指します。

JEITAは業界団体として会員の競争力強化に努める一方で、近年の複雑化・多様化する社会課題に対する産業界の社会的な責務を果たすため、IT・エレクトロニクス産業を中核に多様なステークホルダーを結節するプラットフォームへの進化を掲げています。IT・エレクトロニクス業界において、これまでのデザインは製品の外観やUI・UXの設計、企業のビジョン発信などの領域で活用されてきたのに対し、今後はテクノロジーとサービス、企業と消費者、企業と社会等を、人間中心の視点で繋ぐ役割として機能することが求められており、JEITAが目指すプラットフォーム構築に向け、デザインの力への期待が寄せられています。

デザインエコシステム形成プロジェクトは、デザイン部会に所属するインハウスデザイナーがサポーターとなり、地域の関係者が共通で抱くありたい未来像を可視化し、これまで気が付かなかった地域の魅力や解決したい社会課題を明確にすることで、産官民のパートナーシップをより一層強化していくことを目指す、新たな事業です。これまで、企業に所属していたインハウスデザイナーは、所属企業の製品やサービスの充実に向けて活動してきましたが、デザイナーが持つ素養であるユーザーへの共感から生まれる本質的課題解決手法と、目指したい姿の可視化という強みは、街づくりの場においても活用できると考え、デザイン部会では、デザインエコシステム^{*2}の形成について検討してきました。

一方、静岡県三島市は、“せせらぎと緑と 活力あふれる 幸せ実感都市・三島”を将来都市像として、移住定住の促進や子育てしやすい街づくりに取り組んでいますが、ライフスタイルが多様化する中で、必要な対象に情報を届けかつニーズに対応するためには、市民と市職員の効果的なコミュニケーションをデザインする必要性が高まっています。当該課題を解決するためには、多様なステークホルダーを巻き込み、トライ&エラーを繰り返しながら解決案を改善できる場が必要です。市民への共感を通して見つけた課題を可視化・共有し、あらゆる市民が参

画できる持続可能な課題解決モデルの構築を企図して、デザイナーにより構成されるデザイン部会と、デザインエコシステム形成のための実証事業を共同実施する運びとなりました。

デザイン部会がこうしたデザイナーの強みを生かして、市民と市職員の間に入り、両者が本来に望む社会の在り方について、問いを通して描くことで、日本の地域の実態に沿った人間中心の街づくりの一助となることを目指します。

今後の取り組みにつきましては、随時発表いたします。

※1 JEITA デザイン部会について

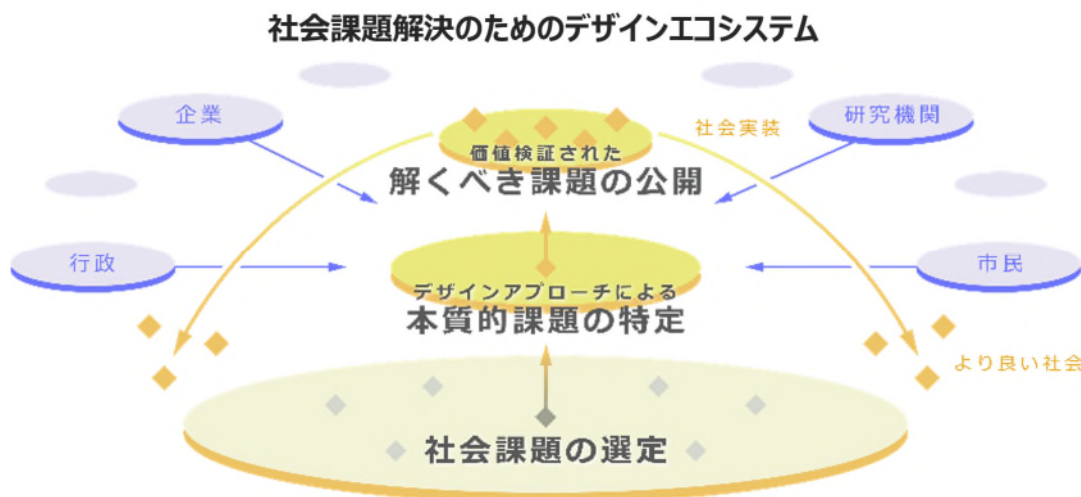
国内 24 社のメーカーに所属するインハウスデザイナーによって構成された組織。デザインの専門集団として国内外のデザインファースト事例の研究活動や発信を行い、産業競争力強化および企業価値向上に資する活動を推進しています。

<デザイン部会参画企業> (五十音順)

OKI プロサーブ、オムロンヘルスケア、キヤノン、コニカミノルタ、JVC ケンウッド・デザイン、シャープ、セイコーエプソン、ソニーグループ、東芝、ニコン、日本電気、東芝テック、パイオニア、パナソニックホールディングス、日立製作所、富士通、富士電機、富士フイルム、富士フイルムビジネスイノベーション、ブラザー工業、三菱電機、横河電機、リコー、レノボ・ジャパン

※2 デザインエコシステムについて

デザインエコシステムとは、デザインアプローチによる、オープンな社会課題解決の仕組みです。複雑な社会課題が溢れる世の中において、技術中心の解決策や個別の取り組みから脱却し、本当に解くべき課題は何かを特定し公開することで、あらゆる立場の人が同じ課題に向き合うことのできる社会を目指しています。



■コメント

石川 慶文 デザイン部会 部会長 / キヤノン株式会社 総合デザインセンター 所長

「JEITA のデザインエコシステムは領域やパートナーが多岐にわたる新しい取り組みです。日頃からユーザー視点で物事を考え、わかりやすく整理・可視化し、さまざまなステークホルダーと柔軟に協働できるインハウスデザイナーで構成される当部会が推進すべきプロジェクトであると思います。企業の壁を越えた連携の仕組みをつくって活動することはチャレンジですが、アウトプットに加え、それに至るプロセスも本協定に基づく成果だと考えています。三島市の方々との本活動に注力し、それを発展させることでより社会に貢献できれば幸いです。」

豊岡 武士 三島市長

「民間提案制度など、共創の取り組みを進めております本市にとって、このたび JEITA のデザイン部会と地域課題の解決に向けてパートナーシップを締結したことは、大変ありがたいことでございます。日本を代表する企業のデザイナーの皆様とともに、デザインアプローチにより地域の課題を可視化し、共有することで、多様なステークホルダーとさらなる官民連携を進めながら、街の魅力と市民の皆様のウェルビーイングの向上に繋げてまいりたいと考えます。」

【デザイン部会に関する企業・団体関係者からのお問合せ先】

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）事業戦略本部 市場創生部（担当：飯野）

E-mail : mio.iino@jeita.or.jp

【三島市に関する企業・団体関係者からのお問合せ先】

静岡県三島市 企画戦略部 政策企画課（担当：佐藤）

E-mail : seisaku@city.mishima.shizuoka.jp